

田川市立大浦小学校 P T A

〒 826-0043 田川市大字奈良 1616

Tel 0947-44-0838

1 会員数及び会費 (平成 20 年度)

区分	P会員	T会員	計
会員数	156	15	171
一人あたりの年間費	3,600	3,600	

2 収支決算 (平成 19 年度)

(単位 : 円)

収入の部	前年度繰越金	252,233	雑収入	101,668	計	948,501
	年会費	594,600				
支出の部	費目	支出額	摘要 (主な使途)			
	運営費	256,719	県 P・市 P 負担金、県 P 新聞代			
	事業費	89,975	プール監視員手当代、卒業記念品代			
	活動費	231,451	各委員会の活動代、各学年ふれあい授業代			
	雑費	19,080	傷害保険			
	予備費	0				
	計	597,225				

3 設けられている会則、運営規則、会計規則等

会則などの名称	制定・改正年月日	要旨
田川市立大浦小学校父母教師会規約	昭和 44 年 10 月 22 日	施行
	昭和 53 年 3 月 24 日	一部改正
	平成 9 年 1 月 21 日	一部改正
	平成 17 年 5 月 1 日	一部改正

4 発足から今日までのあゆみ

年・月	P T A の沿革 (活動のトピックのみ記載)
明治 35 年	三井尋常小学校として開校
昭和 22 年	田川市立大浦小学校 P T A 発足
昭和 53 年	福岡県 P T A 連合会より表彰
平成 15 年	田川市 P T A 連合会より表彰
平成 17 年	田川市 P T A 連合会より表彰
平成 18 年	福岡県人権・同和教育研究大会で実践発表
平成 19 年	田川市 P T A 連合会より表彰及び実践発表
平成 20 年 11 月	優良 P T A 文部科学大臣表彰受賞

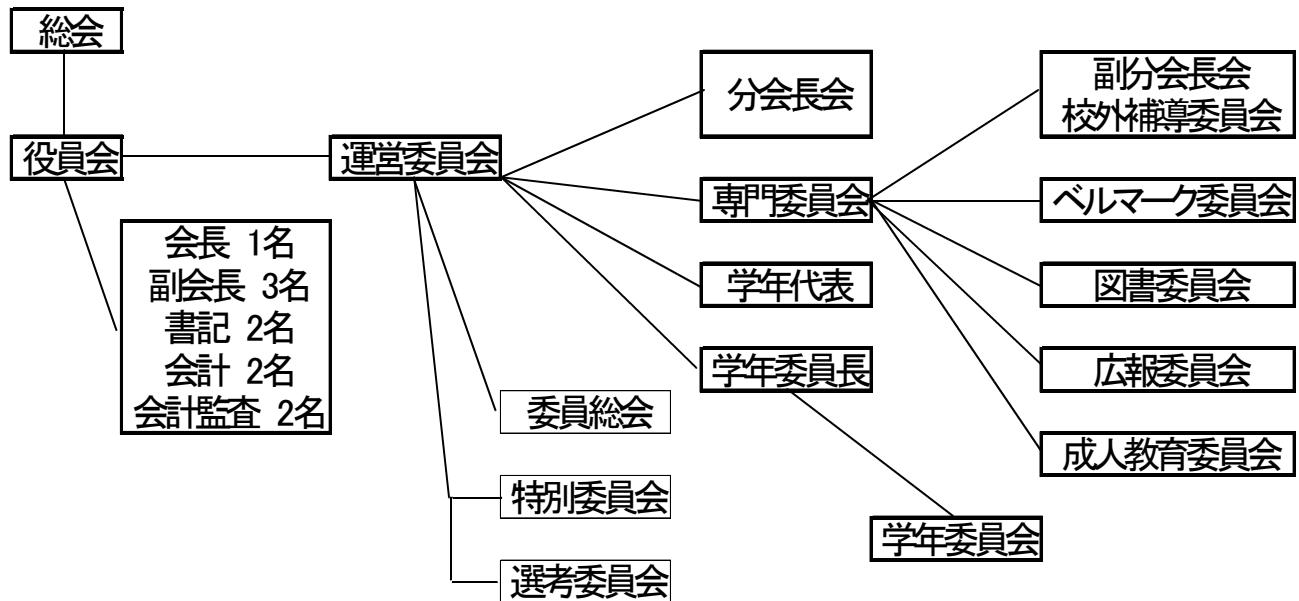
5 地域の概要

本校区は、福岡県のへその部分あたり田川市西部に位置し、学校中心に1km範囲の校区である。大浦池を水源とした谷間の農地と旧炭坑の跡地と旧炭坑住宅の改良住宅、さらに一戸建て新興住宅によって構成されている。また、後藤寺小学校と本校で後藤中学校校区になり、活性化協議会や育成会を中心に青少年健全育成に積極的に取り組んでいる。保護者・地域の方々は、本校の教育活動に关心も多く、学校運営にご理解いただき、ご支援・ご協力をいただいている。

6 組織運営の状況

本校 P T A の組織は、役員会と運営委員会を設置し、分会长会・専門委員会・学年代表・学年委員長に分かれ、さらに専門委員会は五つの委員会に分けて組織化している。P T A活動の活性化を図るために、組織表にそって役割分担を明確にし計画的に活動している。また、毎月定期的に運営委員会を開催し、連携のとれた有機的な組織運営を図っている。

大浦小学校 P T A 組織表



7 広報活動の状況

広報委員会が学期毎に P T A 新聞を発行している。内容は、P T Aで取り組んだ行事や各委員会の取り組みなどのお知らせや報告を随時、広報委員会を中心に広報として発行している。

P T Aのホームページを開き、P T A活動の状況などを行事毎に保護者や地域に発信し、掲載している。

また、各委員会や各学年委員会で随時、委員会や学級の出来事を学級新聞等で発行している。

8 学校教育の理解及び家庭教育に関する学習活動の状況

①授業参観や手をつなぐ集会・心をつなぐ集会・夢をつなぐ集会などの学校行事に、積極的に参加している。授業参観においては、96%の参加率を上げている。また、学習応援団として、授業の補助（丸付け応援団）や学校応援団として近隣の社会見学

の引率の応援、各学年のふれあい授業の企画・実施など積極的に参加している。

②新家庭教育宣言の取り組みの一つとして朝食100%を目指し毎月の19日（食育の日）の週間に朝ごはんの推進及び調査を実施している。毎月徐々に朝食欠食率が減少し1月の給食記念週間には、2日連続朝ごはん100%を達成した。また、給食の残菜ゼロ%も達成し、「食育」にPTA活動として取り組んでいる。また、夏休みには、家庭生活リズムを整えるために、親子約束ノートの実践を行い、全体目標と個人目標を決めて大きな成果を上げた。

③規範意識の確立の取り組みの一つとして名札100%を目指して2学期から指導の徹底を図り、1月の全校集会で100%の達成を確認した。児童・保護者・教師との深い信頼関係と学校への協力・支援のたまものだと確信している。

9 地域の教育環境の整備に関する活動

①大浦小交通安全少年隊の活動にPTAとして積極的に支援・協力・実践を行っている。児童の安全・地域の安全のためにPTAの校外補導委員会が中心に登校時の交通立哨を中心に活動している。福岡県子ども交通安全大会で連続29回学童交通安全実践「最優秀校」を受賞している。結成以来34年をむかえ、親から子へと2世代に継ぎ活動を行い、地域上げて交通安全に努めている。この少年隊の活動は本校の教育遺産でもあると確信している。

②家庭教育委員会を中心に毎年家庭教育講演会を実施している。平成19本年度は、後藤寺校区（後藤寺小学校・後藤寺中学校・大浦小学校）及び田川市PTA連合会等に呼びかけ、120名の参加があり、地域としての教育効果を上げることができた。③田川市の田川コールマインフェスティバルの炭坑節総踊りに児童・保護者・教職員で参加し、地域の一員としての自覚を深め、社会参画への実践を行っている。また、校区の活性化協議会のフェスティバルにも参加し、学校・家庭・地域が三位一体となり、子どもの健全育成のために連携・融合している。

10 児童の学校外生活の指導に関する活動状況

①4・5年の4泊5日の英彦山合宿（セカンドスクール in 英彦山）に保護者約延べ100名が支援・協力をしている。夜の生活指導や英彦山登山の引率、クラフトや野外調理の補助などを行い、学校外活動などにも積極的に参加している。この英彦山合宿は、本校の体験活動の柱であり、この合宿後の子どもたちの変容に保護者も驚きと喜びを感じ取っている。そのため、この合宿に保護者も全面的に協力・支援をしており、また、保護者同士の人間関係の深まりと連携の強まりもその成果である。

②生活科の校外での体験活動時や総合学習の「田植え」体験などの際には、保護者が学習応援団として児童の活動の支援に当たっている。

11 今後の課題

①学校・家庭・地域が三位一体となり、安全で安心な学校生活を送るため、そして特色ある教育活動を実践するために、更なる連携・融合が必要である。

②「時を守り、場を清め、礼を正す」という本校の教育実践を徹底するために、PTA活動を通じた規範意識の確立と自尊感情の高揚が今後の大きな課題である。